

23日

- 13:00 開場 13:30 開演
13:45～研究発表 第1セッション
マルク・バティエ(パリ=ソルボンヌ大学教授)
“Studying Japanese Electroacoustic Music: a View from Paris
(日本の電子音響音樂研究——パリからの視点)”
井上さつき(本学音樂学部教授)
「日本のヴァイオリン王 鈴木政吉」

16:15～レクチャーコンサート1

- 「実験工房の作曲家たちにみる東洋の影響——フルート作品を中心に」
丹下聰子(フルート)、内本久美(ピアノ／本学音樂学部准教授)、
成本理香(作曲とレクチャー)
武満徹:《巡り》——イサム・ノグチの追憶に
福島和夫:独奏フルートのための《冥》
福島和夫:アルト・フルートとピアノのための《エカーグラ》
湯浅譲二:《舞動 II》～アルト・フルート(または能管)のための
成本理香:新作初演

17:30～特別コンサート

- 「愛知芸大所蔵 鈴木政吉1929年製手工ヴァイオリンによる特別コンサート」
桐山建志(ヴァイオリン／本学音樂学部准教授)、江川智沙穂(ピアノ)、
井上さつき(ミニレクチャー)
ヒンデミット:ヴァイオリン・ソナタ 二長調 作品11-2
ベートーヴェン:ヴァイオリン・ソナタ 第9番 イ長調《クロイツエル》



異文化へのまなざし

愛知県立芸術大学創立 50 周年記念
Commemorating the 50th Anniversary of Aichi University of the Arts

国際シンポジウム
International Symposium: Insights into Other Cultures

■日時: 9月23日(金)、24日(土)

■場所: 愛知県立芸術大学

演奏棟大演奏室A、室内楽ホール

※申し込み不要、入場無料。ただし、席数に限りがあります。

※未就学児のご入場はご遠慮ください。

※内容が変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

愛知県立芸術大学と、本学の協定校である3大学(パリ=ソルボンヌ大学、台南芸術大学、ミラノ大学(協定締結準備中))の研究者が一堂に会し、「異文化へのまなざし」をテーマに、音楽・美術にかかる研究発表およびレクチャーコンサート等を行います。

24日

- 9:30開場 10:00開演
10:00～研究発表 第2セッション

蔡宗德(台南芸術大学教授)

“Transculture and Identity: Historical and Social Environment of Chinese Indonesian Wayang Potehi (トランスカルチャーとアイデンティティー——中国=インドネシアのワヤン・ポテヒの歴史的・社会的環境)”

増山賢治(本学音樂学部教授)

「第二次世界大戦前後の日本映画から見聞する中国音楽について」
安原雅之(本学音樂学部教授)

「19世紀のロシアで編纂されたロシア民謡集について」

14:00～アフタヌーンコンサート

- 「歌曲にみる異文化へのまなざし——H. ヴォルフの歌曲を中心に」
高木彩也子(ソプラノ)、青木園恵(ピアノ)
シューベルト:ズライカ
メンテルスゾーン:歌の翼に
ヴォルフ:《スペイン歌曲集》《イタリア歌曲集》より抜粋 他

14:45～研究発表 第3セッション

ロッセッラ・メネガッソ(ミラノ大学准教授)

“150th Anniversary of Diplomatic Relations between Italy and Japan: the Role of Italian Photographers in 19th Century Japan(イタリア日本国交150周年——19世紀日本におけるイタリア人写真家の役割)”

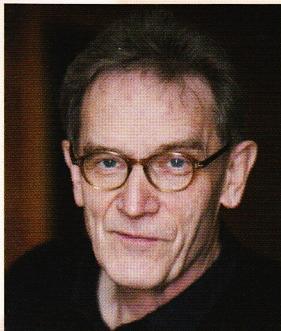
高梨光正(本学美術学部准教授)

「大正期の日本人が憧れた西洋美術」
本田光子(本学美術学部専任講師)
「海を越える〈琳派〉」

18:10～レクチャーコンサート2

- 「フランス人音楽家アンリ・ジル=マルシェックスと日本文化」
白石朝子(ピアノとレクチャー)、河合玲子(ソプラノ)
大澤壽人:《丁丑春三題》
ジル=マルシェックス:《古き日本の二つの映像》より《出雲の秋月》
ジル=マルシェックス:《芸者の七つの歌》

〈招聘者〉



マルク・バティエ Marc Battier

1970年以来コンピュータ音楽と深く関わって来た電子音響音楽の作曲家・音楽学者。パリ・ソルボンヌ大学教授、MINT(電子音響音楽研究)部長。音楽学者としては、電子音響音楽とコンピュータ音楽の歴史研究の第一人者で、作曲家としては、彼の作品はヨーロッパ諸国、日本、中国、北米など、各地で演奏されている。1979～2002年にかけて、パリのIRCAMでライヒ、ブーレーズ、シュトックハウゼン、湯浅譲二など著名な作曲家たちと仕事をした。その後、電子音響音楽研究の学会EMSを立ち上げ、さらに、アジアの電子音響音楽の国際的な研究機構を創立し、活躍している。



蔡宗德 Tsung-Te Tsai

イスラム世界の音楽を中心に、中国少数民族（特に新疆ウイグル）の音楽、台湾の伝統的劇音楽の歌仔戯および同地の宗教音楽など、幅広い研究領域をもつ民族音楽研究の第一人者。国立台南芸術大学民族音楽学研究所教授・所長。中国文化大学中国音楽学科、国立台湾芸術大学芸能研究所を経て、国立台南芸術大学民族音楽研究所准教授に就任。2008年より現職。アメリカ・メリーランド大学民族音楽学博士号取得（1993年）。



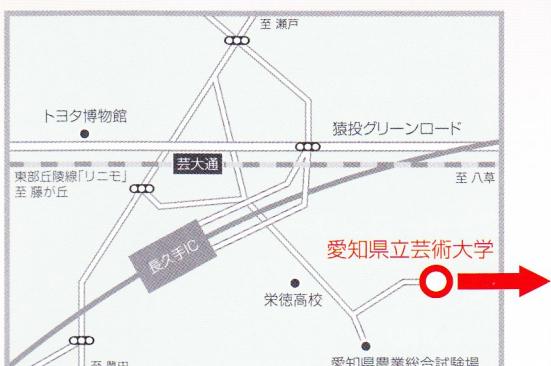
ロッセッラ・メネガツオ Rossella Menegazzo

ミラノ国立大学文化財・環境学部、東洋美術史准教授。国際北斎センター、ヴェネツィア大学カ・フォスカリ校を経て2012年より現職。博士号(東洋学)。日本の幕末明治の写真と浮世絵の影響関係を研究テーマとするほか、幅広くアジアの古美術、写真やデザインに関する展覧会を担当し、イタリアを中心に東洋美術を紹介する。

出演者

増山賢治(音楽学部音楽学コース教授／民族音楽史)
井上さつき(音楽学部音楽学コース教授／西洋音楽史)
安原雅之(音楽学部音楽学コース教授／西洋音楽史)
高梨光正(美術学部芸術学専攻准教授／西洋美術史)
本田光子(美術学部芸術学専攻講師／日本美術史)
桐山建志(音楽学部弦楽器コース准教授／ヴァイオリン)
内本久美(音楽学部ピアノコース准教授／ピアノ)

白石朝子(大学院博士後期課程修了・博士／ピアノ)
高木彩也子(大学院博士後期課程修了・博士／ソプラノ)
丹下聰子(大学院博士後期課程修了・博士／フルート)
成本理香(大学院博士後期課程修了・博士／作曲)
青木園恵(音楽学部卒業／ピアノ)
江川智沙穂(大学院博士前期課程修了・修士／ピアノ)
河合玲子(大学院修士課程修了・修士／ソプラノ)



問い合わせ先:

愛知県立芸術大学

第1回国際シンポジウム相談

音楽学コース国際シンポジウム担当
Takumi EGUCHI 36-6222 (研究室直通)

Mail: kangai50chunansympc@gmail.com

URI: <https://musicology.eichbaum.de>

URL <http://musicology.alchi-fam-u.ac.jp/>